

## 第3号様式（第4条関係）

## 農業委員応募書

令和8年2月3日

新発田市長 あて

## 応募する者

ふり 氏	がな 名	なん ぶ 南 武	すすむ 郷	性 別	生年月日・年齢（応募日現在）
				男・女	昭和50年5月22日・49歳
住 所	新発田市 555番地			職 業	農業
電話番号	0254（ ）			勤 務 先	自宅
経 歴 （最終学歴、職歴、団体等の役員歴等を記入。 書ききれない場合は別紙の添付も可）				平成 年3月 新潟県立 農業高等学校卒業 平成 年4月 就農 平成 年3月 農家組合長に就任 平成 年2月 農家組合長を退任 平成 年4月 農業共済組合理事に就任 平成 年3月 農業共済組合理事を退任 令和 年4月 土地改良区理事に就任	
農業経営の状況（該当する方に 印） （経営作目、経営面積、年間農業従事日数等を記入）				・ 専業 ・ 兼業 ・ 農業はしていない 経営作目 稲作、切り花、畜産 経営面積 190,530 m <sup>2</sup> 内訳：自作地 40,000 m <sup>2</sup> 借入地 150,000 m <sup>2</sup> 年間農業従事日数 250日/年間	
応募の理由等 （100字程度で応募の理由を記入。 農地利用最適化推進委員にも同時に応募する場合は、どちらを優先するかも記入）				これまでの営農経験を生かし、地域の担い手に農地を集積することによる農作業の効率化と地域農業の振興に尽力したい。両親も健在で家族も農業委員等の活動に理解があり、協力を約束してくれている。 農業委員を優先するが、調整にも応じる。	
認定農業者等 の区分（該当する方に 印）				・ 認定農業者等である ・ 認定農業者等でない	
農地利用最適化推進委員同時応募の区分 （該当する方に 印、応募する場合は（ ）内に担当区域の地区名を記入）				・ 応募する ・ 応募しない 地区名（ 豊浦 ）	

認定農業者等とは、認定農業者である個人及び認定農業者である法人の業務を執行する役員又は農林水産省令で定める使用人をいいます。